

お客様各位

2024年 9月19日

京成電鉄株式会社

鉄道車両の輪軸組立作業における点検結果について

関東運輸局からの鉄道車両における輪軸の緊急点検の指示を受け、当社の輪軸組立作業について点検したところ、圧入力値の目安値（輪軸新造時に適用している日本産業規格（JIS E4504）で定める値）を外れている輪軸があることが判明しました。

詳細は以下のとおりとなっております。

なお、当該作業の委託先である京成車両工業株式会社において、その輪軸に関わる輪軸組立作業の記録書き換えによる不正や改ざんはありませんでした。

1. 点検結果

保有する全2662軸について、検査成績表を点検したところ、4軸が圧入力値の目安値を外れていました。

2. 点検結果を受けた対応

圧入力値が目安値から外れた輪軸を搭載した車両は、9月18日までに輪軸交換を行っております。

また、当社では定期検査時に輪軸の超音波探傷及びバックゲージ（車輪間隔）の測定を行っており、安全性に問題がないことを確認しております。

3. 原因

当社における輪軸組立作業においては、検査成績表に出力される圧入力値波形と圧入力値の目安値を確認することとしており、目安値を外れた場合の取扱いを明確に定めていなかったため。

4. 今後の対応

輪軸組立作業において、日本産業規格（JIS E4504）で定める値を踏まえ、圧入力値を規定化いたします。

以上